



連日 30 度を超す暑さで、うだっているのは大人ばかり。子どもたちは水遊びに夢中で、暑さなんかなんのその。活動エネルギー全開です。夏ならではの遊びを満喫しようと思います。また、疲れの出やすい時期なので早寝をし、一日の疲れを次の日に残さないよう、気をつけていきましょう。



水あそび、楽しんでます♪

回を重ねるごとに水や水遊びの雰囲気慣れ、体にかけてもらおうと「キャッキヤ」と声を出して笑います。ジョウロを使って上から水を降らせると、「キャー」と手を伸ばしたりして大喜び。水に触れることが楽しくて、水面をバシャバシャとたたいて水しぶきを上げる子どもも増えました。顔にかかっても平気になり、豪快に水しぶきを上げています。子ども達も保育者もびしょ濡れになり、楽しい夏になりました。



☆熱中症に気を付けましょう☆

ジリジリと暑い夏本番。この時期、特に気を付けたいのが熱中症です。乳幼児は体も小さく、自ら意思表示をして、水分を取ることが難しいので、脱水症状や熱中症にならないよう周囲の大人が気をつけましょう。熱中症は、炎天下だけではなく、湿度の高い室内でも起こります。通気性のよい服を着せ、こまめに水分を与え、外出時にはきちんと帽子をかぶらせるなどしましょう。体調の変化に気をつけ、暑い夏を健康に乗り切りましょう。

8月の予定

5日(木)
命を守る訓練

6日(金)
発育測定・交通安全指導

※10日~16日まではお盆期間中として希望保育となります。

お出かけのときには…

長いお休みには、家族でお出かけすることもあるでしょう。海や山では急に天気が崩れることがあります。十分気を付けてください。そして、道路を歩く時は、保護者の方が道路側になるようにして、お子さまの手をしっかり握って歩くようにしてくださいね。正しい横断の仕方を覚えていくといいですね。また、お子様の体調に合わせて、無理のない行程にすることも大切です。

冷たいおやつ

暑い日が続くと食欲が落ち、ついつい冷たい物を食べたくなくなります。一時的にはよいのですが、続いてしまうと、内臓の働きが悪くなり、よけいに夏バテを引き起こします。おやつとして効果的に利用していきましょう。